

迎春



芳賀町長 見目 匡

あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。日頃から、町政に対しまして温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、町にとって喜ばしい話題としましては、梨の海外輸出や、日本穀物検定協会による芳賀米の食味官能試験を実施し、米の食味ランキング最高評価である「特A相当」を獲得したことが挙げられます。また、芳賀中学校ロボコン部が、創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会で日本一に輝きました。

さて、本年は「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を将来像とする第6次芳賀町振興計画の2年目となります。将来像の実現のために、さまざまな取り組みを加速させます。LRT（次世代路面電車）事業については、昨年国から計画の認定を受けたことを踏まえ、宇都宮市と連携しながら、工事施行認可の取得などに向けて本格的に取り組みます。町民の皆さまにLRT事業に対する理解をより深めていただくため、CG画像を織り交ぜたイメージ動画を制作し、LRTをはじめとする公共交通の利

便性を積極的にPRしてまいります。

生活基盤施設の充実や田園と調和した市街地の形成を進め、利便性と快適性に優れたまちを目指し、祖母井中部地区などの市街地整備を進めるとともに、農業の効率化や競争力のある農業環境を整備するため、北部第2地区の再場整備事業の調査計画を進めます。町外・県外との交流人口を増やし、芳賀町の魅力を発信しながら、芳賀町のにぎわいを創出し、定住人口の増加を図るため、芳賀高校跡地の宅地造成事業を実施し、農村環境と調和した住宅地を創出してまいります。さらには、既存工業団地の機能強化を目指し、工業団地拡張の事業化に向けた取り組みを推進します。

本年も第6次芳賀町振興計画の実現を図ることにより、「明るい未来」を創造し、町民の皆さまが「住んで良かった」と思える芳賀町を目指してまちづくりに邁進してまいります。

結びに、皆さまにとりまして、本年が健康で幸せな年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



芳賀町議会議長 増淵 ゆき子

あけましておめでとうございます。町民の皆さまには、輝かしい新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。皆さまには、日頃から議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、4月の熊本地震、10月の鳥取地震に続き、当地でも11月に平成23年の東日本大震災を思い起こさせる大きな地震に見舞われました。幸い当町の被害こそなかったものの、改めて日頃の備えを再確認した出来事でした。災害に際しては平素から「自助」「共助」「公助」の心構えを大切にして、被害を最小限にするためそれぞれに役割を果たしたいものです。

さて、平成9年12月に成立した介護保険法は法改正を重ね、本年4月から要支援向け予防サービスは全国一律のサービスから市町村が実施する総合事業に移行されます。市町村の力量が試される時代でもあります。

昨年実施した「町政に関する町民満足度調査」結

果によりますと、「介護保険制度の適正な運用」は重要度第3位となっておりますが、満足度につきましては残念ながらランク外です。満足度が少しでも上がるよう、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりに励みたいと思います。

新しい年の幕開けとともに、本年はLRT（次世代路面電車）事業着手の年でもあります。公共交通基盤の脆弱な芳賀町にとって、夢の実現の第一歩となる記念すべき年となります。地域経済への波及効果を期待するとともに、住みやすさの満足度も上がることを期待するところです。

今後とも、町民の皆さまのご期待に応えられるよう開かれた議会、信頼される議会を目指し一層努力してまいります。

結びに、郷土芳賀町の限らない繁栄と、本年が皆さまにとって健康で幸せな年でありませう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。